

平成27年11月12日
東京空港事務所

事業者 各位

N地区エプロンの運用制限について（お知らせ）

平素より、空港の安全運航に多大なるご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

標記につきまして、N地区エプロンの一部舗装改良のため、以下のとおり運用制限が生じますので、ご理解ご協力方よろしく申し上げます。

（整備内容）

アスファルト舗装への耐油性塗装の塗布を実施

※今回の施工を行わない場合は、当該箇所での航空機への給油作業に制限が生じます。

（制限内容）

スポットN0B～N4Bの段階的閉鎖（一度に2スポットの閉鎖が生じる）

ステップ①： N0B, N1B閉鎖 12月10日～1月 5日（予定）

（N0B閉鎖に伴う海上保安庁用としてN0Aを代替します。）

ステップ②： N1B, N2B閉鎖 1月 6日～1月27日（予定）

ステップ③： N2B, N3B閉鎖 1月28日～2月17日（予定）

ステップ④： N3B, N4B閉鎖 2月18日～3月13日（予定）

天候等により閉鎖時期は前後します。

詳細については追ってノータムを確認願います。

なお、閉鎖箇所はバリケード等で囲い、誤進入防止対策を行います。

※添付資料：図面、工程表

-----本件問い合わせ-----

（スポット調整に関して）

東京空港事務所

航空管制運航情報官：徳井（発着担当）

tokui-t02vi@cab.mlit.go.jp

hnd-slot_spot@cab.mlit.go.jp

電話 03-05757-3023

（工事に関して）

東京空港事務所

基盤施設担当：成田

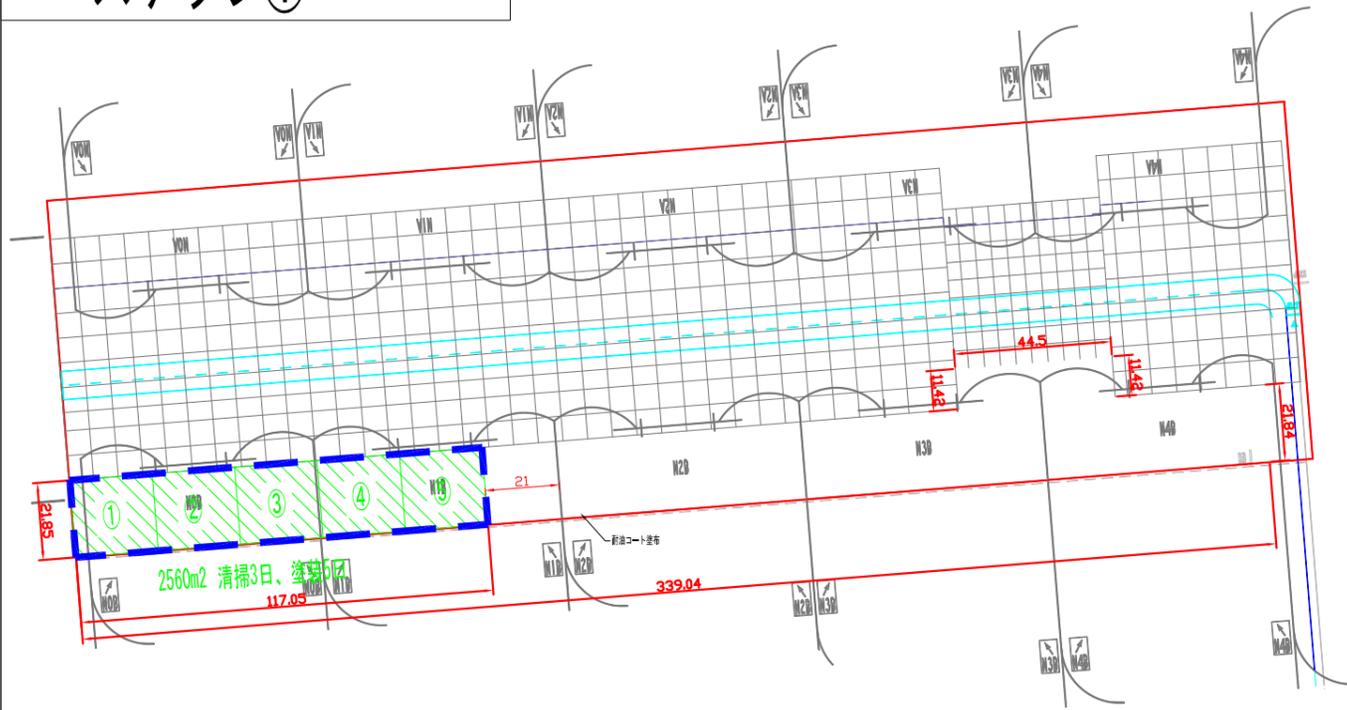
narita-g117w@cab.mlit.go.jp

電話 03-5757-3030

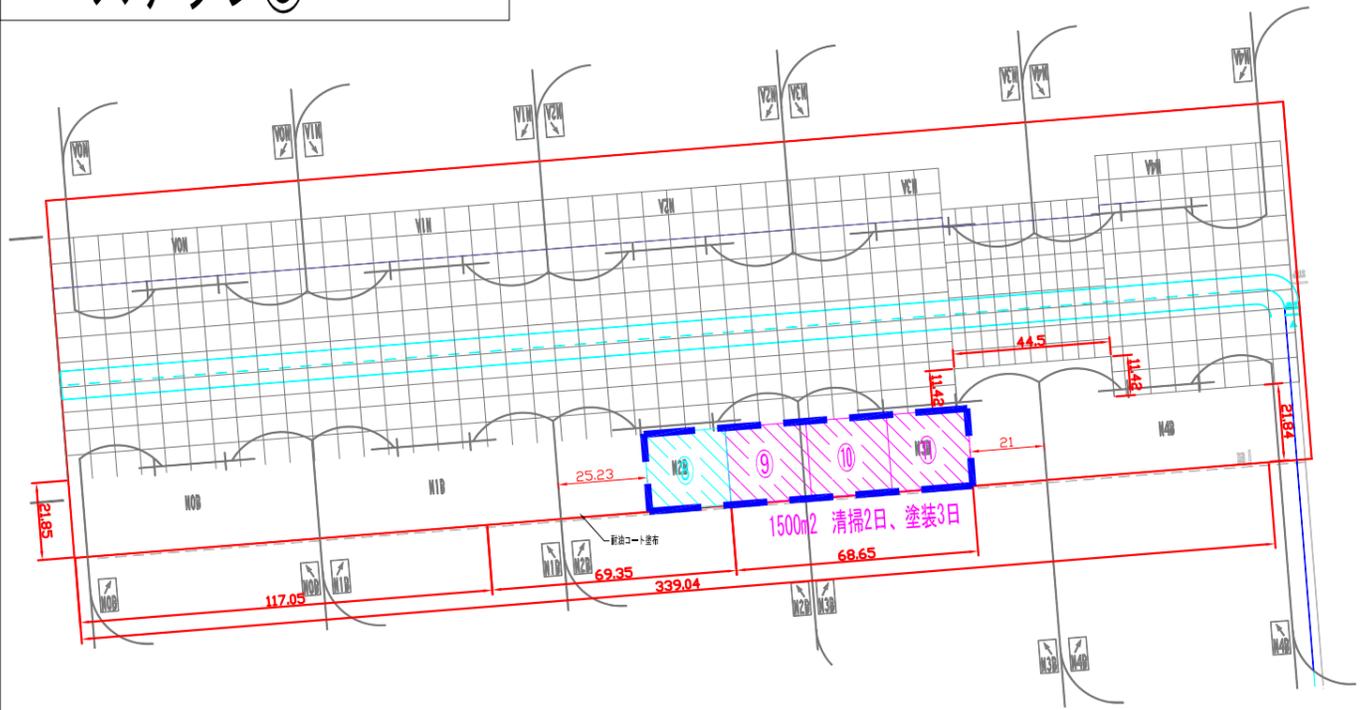
N地区塗装工分割ステップ図①～④

*航空機の2スポットづつ閉鎖予定(2週間養生完了した箇所から開放し、次の区間を規制する。)

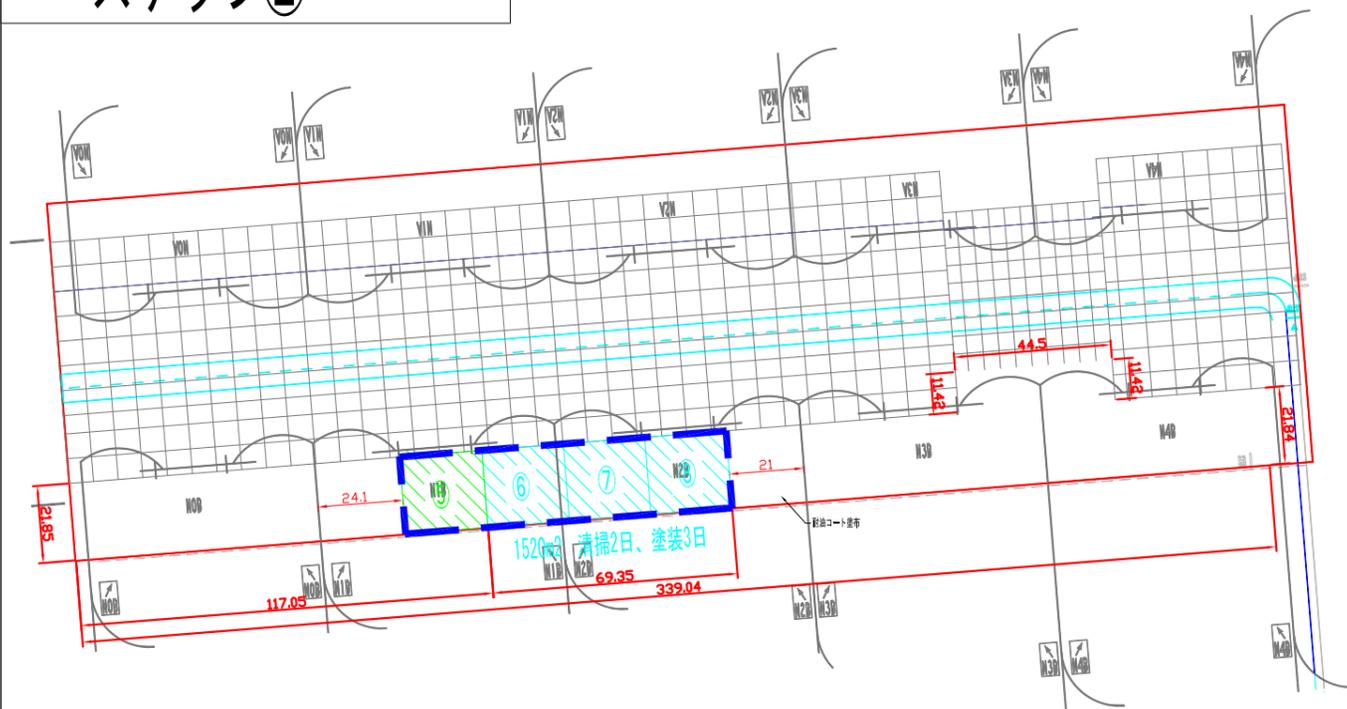
ステップ①



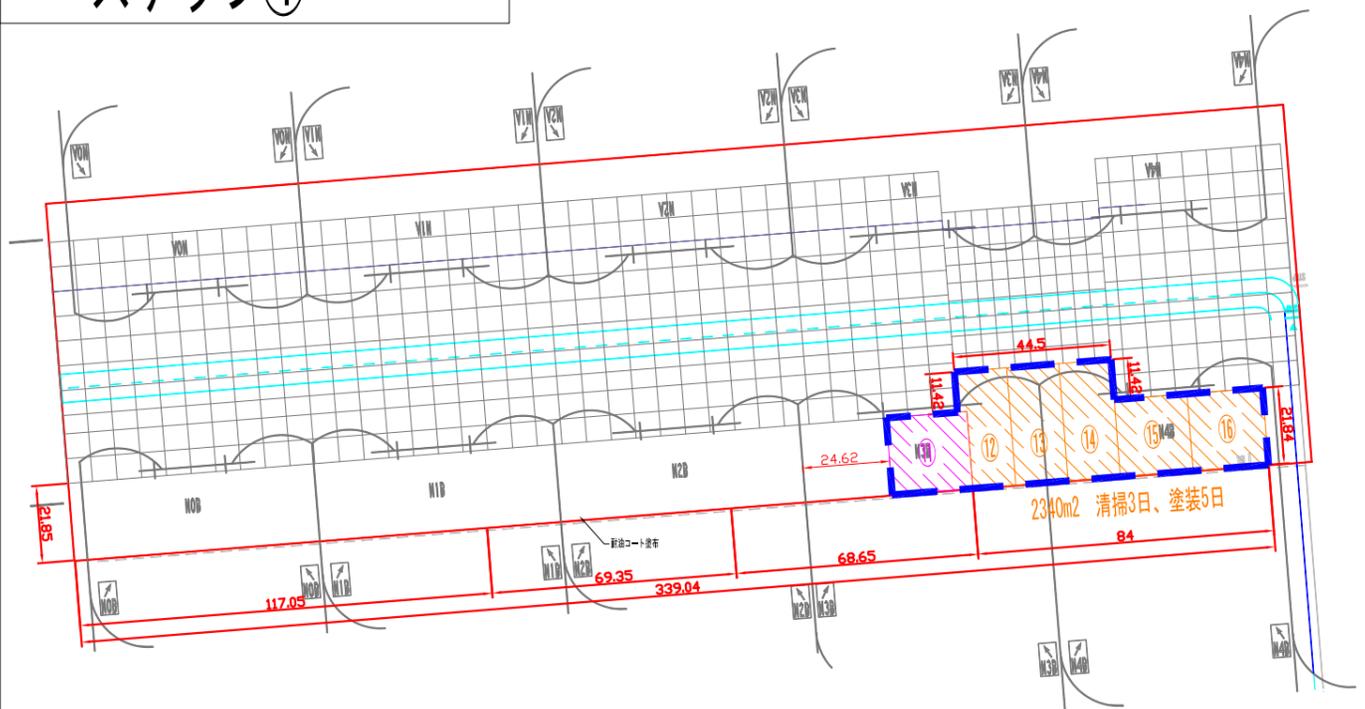
ステップ③



ステップ②



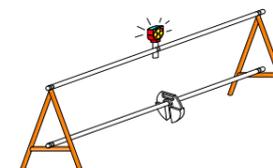
ステップ④



凡 例

— 単管バリケード設置位置

作業・養生期間立入防止対策



- ・作業・養生期間の立入禁止対策として単管バリケードにより明示を行う。
- ・単管バリケードの設置位置は、作業・養生範囲の外周部に設置する。
- ・転倒防止としてウエイトを設置する 設置間隔は、4m程度を基準とする。
- ・夜間の視認性を保つ為、点滅ライトを各コーナー及び概ね15m置きに設置する。

N地区耐油性塗装工程表

東京国際空港A滑走路等舗装補修工事

段間的に2スポットずつの閉鎖を行う場合

